

市議会を傍聴・視聴して思うこと

○8月の議会を傍聴して、議員の方は、元気が少ないのか、声が小さいと思った。傍聴していると聞き取りづらいので、大きい声で発言してほしい。

→ 議員) 議場ではマイクがいらなくらい元気な声で発言するよう、昔、先輩にいわれたことを思い出した。大きな声で発言したい。

○今、保育に関する動きがあるので常任委員会を傍聴したいが、審査の進行が分からないので、聞きに行くことができない。

→ 議員) 委員会は審査の順番は決まっているが、審査の時間制限を設けていないので、進行のスピードが内容によって違うため前もって予定がお伝えしづらい状況となっている。

→ 事務局) 前日には分かっているので、前日に連絡をもらえれば進行状況を伝えられる。

市議会の広報について

○議会だよりの配付について。議会だよりは市の広報と一緒に配付されている。広報の間に挟んであるので、今回周りの人に議会だよりについての意見を聞こうと思ったが、市議会だよりに来てきかなかったと言っていた。挟まずに配付するか、別の日に分けて配れないか。

○地区によって配付方法は違うと思うが、川島地区では連絡員さんをお願いして地区のお知らせと一緒に配ってもらっている。配付時期も決まっているので挟んで配って下さいとお願いしている地区もあると思う。市民の方が、広報よっかいちから市議会だよりをきちんと出して整理すればいいのではないかと思う。連絡員さんの効率もいいと思うので挟んで配った方がいいのではないかと、個人的には思う。

○市議会モニターの任期が一年、最大で二年。二年以上やってベテランになればなるほど色々な意見が出てくる。今日も、二年目の方から貴重な意見が出ているので、希望者には三年でも四年でも、議員の任期にあわせて四年くらいはやってもらってもいいのではないか。

○できれば三年目も市議会モニターをやりたいと思っている。意見を言える場がなかなか無いので、三年、四年とやりたい。

→ 議員) 市議会モニターは、センターの館長からお願いしてやってもらっている方が多いということは承知しているので、続けてもらえる方に続けてもらうことは、悪い話ではないと思っている。規約をかえられるのであれば、できなくはないと思っているので、このことは議会全体として情報を共有していきたいと思う。

議会運営について

○安全保障関連法案の意見書の審議について、請願者の方が意見書に対する陳述を申し出たが、内容は分かったので必要ないとの返答だったという話を聞いたが、請願者の思いは説明しないと分から

ないのではないか。

- 議員) 意見書について説明を求めるかどうかについては、委員会で諮り、内容をよく読んだ状況の中で、委員会の総意としてこの内容で審査が可能という判断があった。ただ、その方の思いという部分について、配慮も必要であったと受け止めている。今回は説明していただけなかったが、思いの部分の受け止めをしっかりと感じながら判断していかなければならないと思う。
- 議員) 請願については委員会の場でご説明いただけるということになっているが、現状のルールとして委員会の総意で省略もできる、となっているので運営上で疑問をもたれたのではないかと思う。改善できる場所があればとは思っている。

**○議員定数が今年 34 名になったが、四日市市議会としてこれから議員定数についてはどう考えているのか。増えることはないと思うが現状維持になるのか、もっと減らしていくのか。一人でも減らせば財政の削減にはなるが、しっかり仕事をしてもらえるのであれば削減ばかりする必要はないと思う。四日市市議会は今後どのような方向で進んでいくのか教えてほしい。**

- 議員) 議員定数はこの春に 2 名減らしたばかりという現状で、今後定数をどうしていくかという話は現時点では四日市市議会内で出ていない。ただ、長い目でみて人口減少が進んでいけば、それにとまって議員定数も自然減という可能性もなくはない。そうなればもちろん定数をかえていかなければならないと思っている。市議会として県内でみると、市民に対する議員の数がもっとも少ない議会なので、しばらくはこの 34 名できちんと運営ができていくのかを確認していきたいと思っている。
- 議員) 議員の数はなにをもって多い少ないということが難しいところではある。世論の中で議員数が多いと感じているのは、議員の不祥事がおきたり、仕事をしているのかどうか分からないという点があると思う。四日市市議会は、議員の仕事がみえるように、何をやっているのかみなさんに分かってもらえるように、議会報告会や議会改革を進めている。数の議論は今のところ無いが、今はこの議会改革をしっかりと進めていくことが大切であると考えている。

#### 議会報告会について

- 働いている人には非常にタイトな開始時間だと思う。18 時 30 分から 20 時 45 分までとなっているが、職場が遠い人は帰宅が 19 時くらいになる。19 時くらいからなら何とか出られるのではないか。議題については防災対策やスポーツ施設整備など我々に直結している。行きたくても行けない現状があるので、土日ミックスしながら開催してもらおうといいと思う。
- 地区の会議の開始時間は 19 時からのところが多い。川島は 19 時半から 21 時まで。会議の時間はタイトになるが、21 時までなら許せる範囲だと思う。
- 私の地区では、だいたい 19 時に始まって 21 時までを限度にしている。内容によって短くても良い場合は 19 時半の時もある。仕事をしている人にとって 19 時は厳しいといわれる。
- 下野地区では 19 時から始めている。2 時間もあれば足りるので、終わりの時間も 20 時半から 21 時までで終わるようにしている。
- 議会報告会に定刻どおり参加したことがない。18 時 30 分は主婦にとっては参加しにくい。しかし、議会報告会后に 19 時半からシティ・ミーティングをして、それでも時間が足りずもっと意見を言

いたい人がいるのに終わってしまうことがたびたびあるので、自分が努力して参加できるようにしなくてはいけないと思っている。平日の夜ばかりではなく土日の昼間にも開催してもらえるといいと思う。

○三重地区は、一応 19 時から 21 時までと自治会でもそのように決めていた。内容をきちんと詰めてやらないと中身がない会議になるので、内容をギュッと圧縮してやった方が良くはないか。

○平日であれば 19 時や 19 時半でもいいと思う。それによって参加者が少なくなるようなら、土日であれば 18 時半から 20 時半にするのが理想だと思う。

○18 時半の開始時間は早い。開催場所に行く時間もかかる。議会報告会とシティ・ミーティングの二つをやるので、ある程度の時間の保障は必要。シティ・ミーティングではみなさんの意見を引き出そうとすると時間がかかるので、時間をとってもらわないと本当の意見が出てこないの、時間は必要だと思う。また、テーマが間際にならないと分からないことがあったので、興味のあるものは聞きに行きたいが、興味のないものは遠慮したい。テーマが早く分かれば、友達も誘って参加できる。現在は分からないが以前は直前までテーマが分からない時もあった。

→ 議員) 従前はシティ・ミーティング単体で開催していたが、4 年前から議会報告会をやろうということになり、現状のかたちとなっている。議会報告会単体で開催すると、ますます参加者が減る可能性があるので、テーマをあげて興味のある方に来てほしいと思っている。それでも参加者は十数名という現状になっている。そのあたりも工夫をしていきたい。

○議会報告会に行った時、参加者はたった 12 名だったが、議員さんの意見が聞けるチャンスだった。市民としてはチャンスを与えられているわけだから、市民ももっと理解をもたないと。12 名だったが、いい意見が聞けたのでこのような場にでてこないといけないと感じた。

○議会報告会はテーマが限られており、一般的な質問がなかなかできない。テーマの質問だけで時間が終わってしまうので、議員と市民の雑談会の場を設けて一般的な話ができるといいと思う。

○シティ・ミーティングのテーマが重なっているので、8 年間のテーマを羅列して表にしてほしい。重なっている部分、抜けている部分があると思う。

○シティ・ミーティングで、テーマと違う発言を受け付ける場合と退ける場合がある。参加者は不満に思っていると思う。

→ 議員) シティ・ミーティングはフリーでやりたいが、收拾がつかなくなるということがあるので、原則テーマを設けてやっている。テーマ以外の質問に対してはその委員会の判断に任せるが、断ることもできることとしているので申し訳ない。

○テーマの質問があつて時間があればテーマ以外の質問もできるルールに統一してほしい。

→ 議員) 開催時間について貴重な意見をたくさんいただいた。18 時半スタートが通例になっているが、仕事を持っていて、家事をして、夕食の支度をしてからということを見ると、18 時半の開催は確かに厳しいのではないかと感じた。そういったことも含めて、時間について再度議会で考えていきたいと思う。

→ 議員) テーマ以外の質問に対する対応については、こちらの都合をおしつけるかたちになってしまい申し訳なく思っている。断り方もあると思うので、配慮をきちんとして、その場で意見が聞けない場合は終了後に個人で話を聞くなどの対応も必要だと思う。テーマが重なっていることに関しては、例えば総務委員会はずっとテーマが防災となっているが、総務の所管の中で市民の方が一番興味をもって意見をだしやすいテーマということで防災とな

っている。市民ができるだけとりあげやすく、興味がある、という視点で選んでいるのでご理解いただきたい。

→ 議員) 時間に関しては、2段階にしてシティ・ミーティングの時間を決めて開催するなどすれば、シティ・ミーティングだけを聞きにこられる方もいるのではないかと感じた。

**○議会報告会を土日開催する場合、時間帯は土曜日の午前中にしてほしい。夜間の運転が苦手なので、夜間の開催であれば二の足を踏んでしまう。**

**○土曜日の9時45分から12時までが良い。テーマは決めずアバウトにやってもらえればたくさん人が来てもらえると思う。**

**○議会報告会が、市民にどれくらい浸透しているのかが第一問題。前年度自治会長をして初めて報告会を知った。もう少しPRして、みなさんに浸透していくともう少し参加者も増えるのではないかと。**

**○テーマがないと、ぐちゃぐちゃになってしまうので、テーマは基本的に設けた方がいいと個人的に思う。時間帯については各地区行事がたくさんあるので、土曜日の19時くらいでもいいと思う。**

**○テーマを決めておかないと、どの地区にも地区のエゴがあるので、地区の要望というようなことになってしまう。時間などを制約してやらないと議会側も大変だと思う。しかし、全て無くしてしまうと議員が来ているのに要望もできないのかということになるので、節度ある範囲でそういう場をつくってもらった方が内容も濃くなると思う。**

**○議会報告会の報告方法について、若手議員がパワーポイントなどを使って説明するときもあれば、委員長が全部説明して終わるときもあり、すごく差がみられるがどうなのか。また、最後まで一言も発言しない議員もあり、何のためにみえたのかと思った。司会の振り方も悪いが、みなさんある程度ご意見は言ってほしいと感じた。**

→ 議員) 報告の方法については、委員会ごとに情報共有するが、決まったルールはない。委員長や委員の意向もあるので、バランスをとりながらやっている。個人的には、報告をしようとする準備が必要となってくるので、若手のメンバーに限らず議員の姿勢として準備をして臨むというところが議会報告会の中でもあっていいのではないかと感じる。今年度は私が一人で報告しているので、勉強させていただいていると思っている。そう捉えるならばそれぞれの議員の勉強の成果を発揮できる場としていくことが良いのではないかと感じた。

→ 議員) 他市においても議会報告会のスタイルはバラバラで、四日市市のように委員会ごとに報告しているのは珍しい。専門の委員会の説明をしているので、市民にとって聞きやすいと思っている。でも、一人ばかりではアクセントもつかないので、今後工夫もしていきたいと思っている。

**○シティ・ミーティングにいつも参加されている方が前に出した回答がないと試してみえた。意見を聞くだけで回答はしないのか。その方はせっかく意見を出したので回答が欲しいと試してみえた。**

→ 議員) ご意見をいただくときにその場で回答がほしい旨を伝えてもらって連絡先を記入してもらえれば、必ず返答させてもらっている。議会報告会直後の委員会で総括もしているので、それに基づいて、委員会で扱うのか議会運営委員会として議会全体で扱うべきなのか整理している。その方に回答が届いていなかったのであれば申し訳ないが、ルールとしてはそういうルールもある。

→ 議員) 報告会の冒頭で回答を希望される方については住所・氏名・内容を記入して受付に提出してもらおう旨を案内していると思うが、説明が不足していたのかもしれない。

**市議会を傍聴・視聴して思うこと**

**○本会議を聞いていると勉強になる。しかし、議員がどういう観点で質問をしているのか、住民の立場で質問しているのだろうかと感じることがある。また、質問や質問に対する回答において、パネルやデータで説明されることがあるが、言葉だけの説明であるので、見ている側、聞いている側はわからない。テロップを付けモニターで表示するなど、見ている人、聞いている人に分かりやすくすることはできないか。**

- 議員) 市議会モニターの方からは何年か前からパネルが見にくいと指摘をうけている。昨年プロジェクトチームを作って議論をした結果、今年度中に議場に大きなスクリーン・モニターを付けることにした。議員がどういう立場で、どういう考え方で一般質問のテーマを決めているのかということは、議員の個人差でさまざまである。議員は地域の代弁者であるという考えで皆さんの声を聴いて質問をする人、率先してテーマを探して市民の皆さんに問題提起をするという考え方の人もいる。どちらが正解というのは無いと思っている。
- 議員) 地域の事から四日市市全体の事まで質問をするため、日頃からいろいろな人から意見を聴き、アンテナを張ってその中から探している。
- 議員) 自分の中でテーマを持ち、行政経営の視点を入れることを考えている。さまざまな政策課題についての一般質問での取り上げ方という事については、その時に応じて顔がいくつもあると思っていただきたい。市民の代表という顔、地元の代表という顔、個人の顔を持って政治活動をしている。

**○一般質問について、一つのテーマをもっと継続してやるべきだとか、取りやめにするとか、どのように判断しているのか。**

- 議員) 市民の皆さんから「もっと聴いてほしかった」という声を聞くことや、自分の中で足りないと思う時に引き続き質問を行っている。

**○一般質問について、奇抜なものや現実的ではないと思う内容のものは質問しないが、実施できる見通しがあるものは質問する、ということはあるのか。**

- 議員) 議員の性格によりさまざまであるが、私は無理だとわかっているけども行う。ケースバイケースだと思うので一概には言えない。

**○議会は議論の場なので、少数意見や奇抜な意見であっても、議場で話題に出してもらいたいが、そのような過程は見えない。自治会の要望は住民の意見を十分に反映していないこともあると思うが、大きな組織の名前で要望を出すので議会で取り上げられ、進んでいくように思う。**

- 議員) 指摘のように、地域の課題について自治会経由で聴くのと個人から聴くのとでは違いを感じるが、それをどう扱うかは議員の個人差によるので、一概に議員がこうであるという答えはない。一般質問については、議員の個性が出るので、特定の議員だけでなくいろいろな議員の質問を聴いてもらいたい。

**市議会の広報について**

**○パソコンで見ようとするとうまく入れない。もう少し入りやすいと良い。あまりパソコンに詳しく**

**なくてもできるようにしてもらえると良いと思う。また、最新のものを見るができなかった。**

→ 議員) ホームページについては、スマートフォンやタブレットで見るとずれが生じることがあり、直したいと思うが予算が必要となる。また、動画を見るためにソフトを入れなければならないことなど、改善すべきところがある。多くの指摘を頂戴することで広報広聴委員会でも発言しやすくなり、改善につながっていくと考える。

→ 議員) 8月定例会議の会議録の事を指摘されていると思う。会議録については一文字一文字起こして作っているの、文字情報はすぐに見ることはできない。会議録は3カ月から5カ月かかる。映像であれば翌週くらいに見ることができる。時間はどうしてもかかるのでご理解いただきたい。

## 議会運営について

### ○議会に手話通訳者を配置する考えはあるのか。

→ 議員) 本会議では、事前に申し込みを受けた場合に手話通訳を行っている。また、議会報告会では既に毎回、手話通訳を実施済みである。

### ○モニターになってまだ一度も傍聴していないので、これからは傍聴しようと思っている。四日市市議会は進んでいると言われているが、広報とか議会運営など全国と比べてどうなのか。四日市市議会が受けている評価を聞きたい。

### ○四日市市議会は進んでいるということだが、CTYなど、議会の様子を放送することは全国的にはあたりまえではないのか。

→ 議員) 高い評価を受けている理由としては、これが決め手だということは無く一つ一つの積み重ねである。例えば、本市は通年議会をしているが、これは大きな違いである。また、市民との交流についても、本日のモニター意見交換会についても他議会では行っていない。議会報告会やシティ・ミーティングも他では行っていない。また、一般質問では理事者に反問権を認めている。情報公開では、CTYのほか委員会のネット中継を行っている。特異なケースとしては、議長と副議長の選挙もネット中継して全て公開している。

→ 議員) 開かれた議会として考えられるものは実施しているのが現状である。

### ○議員に定年はあるのか。また、作らないのか。

→ 議員) 定年はない。国会議員では政党によって、ある年齢になると政党推薦をしないというのはある。憲法で見たときに、国民はみな平等であり、何歳になったら立候補できないと決めるわけにはいけない。何歳であろうと立候補できるし、当選をするということはそれだけ市民からの信頼があるということである。

### ○四日市市議会は女性が少ないと思う。年齢や性別の割当を取り入れたらどうか。これからの時代は変わっていかねばならないが、何の変化も生じないままということとなるのではないかと危機感がある。海外でも例はあるので、頭の発想を変えないといけない。四日市では変化は生じていないのかなと思う。国民が望めばできなくはないので市民の側も考えないといけない。市民の側も変わることも含めて、若い議員に頑張ってもらいたい。

→ 議員) 若年層が選挙に出づらいつという思いはある。また、同世代が政治に関心が薄いと感ずることもある。家庭を持ってしまうと職を失ってまでやるというのも難しく、若手が入りづらいつというのはあるかもしれないが、しかし若ければいいということでもないと思う。

→ 議員) 女性枠を設けたらそれがジェンダーフリーなのかどうか、自然にそのようになるのが

良いので、この問題は深く議論する必要がある。

**○議員の適正数というのは出ないとは思いますが、今後、議員を減らしていく可能性はあるのか。**

→ 議員) 現状では今の定数を変えようとの動きはない。しかし 10 年後はどうなっているのかはわからない。時代の流れによって増える可能性もあるし減る可能性もある。なお、国の定めた適正人数である 46 人よりは少ない。議員を代弁者と捉えるなら多い方が良く、議員が市民の指導者たるべしという見方をするのなら少ない方が良く、議員のあるべき姿論である。ちょうど良い人数というのがどこであるのか、市民の皆さんとしっかり、議員のあるべき論から考えていくことだと思う。

→ 議員) 議会の中での雑務が非常に忙しくなっている。議会のなかで無駄なものを減らさないと議員が 2 人減ってその分の負担が増えている。36 人の期間が長かったために慣れてしまっている。34 人で平準化し皆で受け持つのか、仕事を減らすかなど、議論をしないといけないと思う。

**○議員の数を減らして、給料を上げるべきであると思う。**

**○一般質問の時間配分はどうか**

→ 議員) 定例月議会、一人 30 分である。

→ 議員) 補足であるが、一人の質問時間は最大 60 分である。

**議会報告会について**

**○市議会、県議会、国会議員の立会演説会が選挙の前になると頻繁に開催される。選挙前になると演説会を目にする機会が多いが、日頃からこのような場がもてないのかと話をすると「考えます」との返事をもらうだけである。議員と市民のコミュニケーションについてどう考えているのか。**

→ 議員) 議員個々の活動については言えないが、議会としては、そのような意見を以前からいただいていたので、現在は議会報告会、シティ・ミーティングという形で、全議員が地域に出かけ、1 年 16 会場で意見交換をしている。

**○議会報告会がコミュニケーションの場だとのことだが、一方的な説明がなされその場で対話をする雰囲気ではなかった。コミュニケーションの場の役割をはたしているか疑問である。**

**○議会報告会へ出たきっかけは、自治会長の代行で出たのであり自主的ではない。何らかのアクションがなければきっかけにならない。働きかけ方に工夫が必要だと思う。誘ってもらえれば行く。自治会長に招集をかけるのも一つだと思うし、人を集めることも大事だと思う。議会報告会の内容は自分にとって良かったので、これからはできるだけ出るようにしたい。**

**○議会報告会へ出たきっかけは、場所が行きやすいところであったから。行きにくい場所へは行かない。休日の昼はぜひやって欲しい取り組みである。夜間は行きにくい。会議録の関係であるのか話を一回一回切らないといけないようであり、やりとりが一回で終わることが多い。市民もいろいろ聞きたいこと、意見があると思うし議員もそうだと思う。双方向になるような雰囲気ではなかった。**

**○議会報告会へは、自治会で参加した。4つの委員会が4会場で行われているので、1つの会場に全ての委員会の委員が参加すれば、簡単なことでもその場で回答ができるのかなと思う。**

→ 議員) 議会報告会は、直前で行われた議会の事実を報告する場所で、そのあとのシティ・ミーティングが意見交換の場所である。これから決まっていく事に対して市民の意見を反映させる取り組みとしては、議案に対する意見募集を行い、そこで意見を集め議会の中で協議している。今のシティ・ミーティングの形が絶対正しいと思っているわけではなく、さま

さまざまな場所で意見が交換できる方がいいじゃないかとの貴重な意見をいただいた。これはぜひ検討しないといけない。一事一件の議会の進め方については、一つの事業について集中的に、意識を一つにして集中して物事を議論するための方法として、整理整頓するためにやっている。

**○シティ・ミーティングについては、ネットミーティングを検討してはどうか、例えばスカイプを利用するなど。**

→ 議員) 我々も様々な会議を公開する取り組みをしている。例えば議会報告会をニコニコ動画で公開することなど考えられる。システムを新しく作るには予算と時間が必要なので、予算のかからない、無料のサービスでミーティングが出来るのか、可能であるのなら議会として取り組むべきだと思うし、調査をしたい。

**○議会報告会は人が集まらないのか。**

→ 議員) 何らかの目的をもった団体であるとか、テーマによっては集まる。

**○市政報告会、議会報告会に人が集まらないということを聞いたが、議会側としても何らかの手を講じる必要があると思うが、考えはどうか。**

→ 議員) 議会全体としてのことでいえば、議会報告会、シティ・ミーティングは、意見を聞いて形を変えていかなければならないと思っている。もっと自由闊達な意見が出るように、対話になりにくい雰囲気があるとの意見を頂戴したので、これは改善していかなければならない。シティ・ミーティングの形については、少しずつ変えていかなければと考える。議員の市政報告会については、議会として何か述べる権限もなく議員個人の事である。議員個人の考え方だが、市民の皆さんが集まっていただけるのならば、ほとんどの議員が市政報告会をやりたいと思っているのだろうというのが事実ではないかと思う。

→ 議員) 1つの手立てとしてはこれまで平日夜間に行っていた議会報告会を休日にやってみようという試みがある。また、ショッピングモールのようなところで議会報告会、シティ・ミーティングをしてみてもどうかという意見も出ている。もっとオープンなところで道行く人々に呼び掛けられるように努力していく。

**○議員と地域との話の場が少ないと思う。これまでは「ある議員の市政報告会が公民館でありますので集まってください」という声を聞いたのだが、その回数が、シティ・ミーティングを行うようになってから減ったと感じる。直接対話の場はもう少しあってもいいかなと。シティ・ミーティングで出た市民意見はどのようにまとめて執行部へ伝えられるのか。そして、シティ・ミーティングで出た意見の中で、即答できないことについては、質問者に対して回答書のようなものを出すのであるか。**

→ 議員) 議員個人の市政報告会が減った気がするという意見があったということは、本日の報告として全議員に知らせる。また、シティ・ミーティングの場に出た意見についての対応であるが、その場で答えて完結した場合はそこで終わりであり、持ち帰ったものは、本人が希望すれば後日伝えることとしている。

**○シティ・ミーティングに期待する声があり、以前は大勢で行っていたが、最近は少なくなってきたと感じる。質問した意見の回答が返ってくるのなら、関心が高まると思うのでこれからもそのように配慮してもらいたい。**



市議会を傍聴・視聴して思うこと

○本会議を何度か傍聴したが、質問・答弁共にすり合わせが行われており、なれ合いでやっているように感じられる。制限時間があるので仕方ない面もあるが、作文を読んでいるだけで迫力がなく、傍聴していても眠くなってしまう。過去の意見交換会においても同様の意見があるが、質問や答弁にもっと工夫が必要である。

○傍聴者に資料が配られておらず、議論されている内容が傍聴者に理解できない。特に委員会については、配られる資料が少なく、やりとりが理解できない。市議会モニターをはじめ傍聴者に対して、配付資料を充実させるべきである。

○一般質問において、法律の条文を挙げられても一般市民にはわからないので、資料を配付してほしい。傍聴者に対して、資料を配る議員と配らない議員がいるが、市民目線で改善を行い、親しみのある市議会をつくってほしい。

○近年の傾向として、傍聴者数の推移はどうなっているのか。また、結果を受け対策は講じているのか。

→ 議員) 一般質問の傍聴資料の配付については、議員各自の判断によって行われており、配る場合には政務活動費で印刷をしている。年度内に議場に150インチのスクリーンとモニターを設置する予定であり、設置後は傍聴者の方々に資料をわかりやすく見てもらえるようになると考えている。

→ 事務局) 本会議の傍聴者数は、平成24年度が485人、平成25年度が462人、平成26年度が632人となっている。傍聴者の増加に向けた取り組みについては、傍聴の際に、名前と住所の記入を不要としたり、委員会室への途中入室を可能とするなど、傍聴に係る手続きの簡素化を図っている。

○仕事をしており、傍聴に行くことができなかったため、YouTubeを視聴していた。YouTubeには委員会の録画映像が447本あるが、チャンネル登録数は9名にとどまっており、動画を多くアップしている割には、視聴者が少ないという現状である。YouTubeに動画をアップして、広く公開することは素晴らしいことであるが、2、3時間の動画を見てもらうのは難しいので、動画をテーマごとに編集するなど、視聴者を増やすための工夫が必要ではないか。キーワードで検索ができるようにすると視聴者が増えるのではないか。

○市議会モニターとして、そして、選挙で投票した者の責任として、自分が投票した議員が、どれだけ地元のために動いているか、また、議会活動を精力的に行っているかをウォッチしたいと思っている。

→ 議員) 一方的な配信だけではなく、次の段階へと進歩させなくてはいけないと思っている。これまで全国トップクラスの改革を行ってきた本市議会がさらなる改革を進めていくためには、市民と議会の双方向の交流という視点が必要となる。なお、改革に伴う事務局職員の負担増に対しては、人員増だけでなく、民間委託やボランティアの活用なども含めて対応を検討していく必要があると考えている。いずれにしても、市民と議会の双方向の交流

については、近い将来の実現に向けて改革を進めたい。

○本会議場の傍聴席の階段が非常に急で、高齢者には危険である。また、座席だけしかなくメモを取るスペースすらない。席数を減らしてでも改善してほしい。まずは、実際に傍聴席に座ってもらって体験してほしい。

○仕事や家事に追われる中で、傍聴に行くことができなかったので、インターネットで録画映像を視聴した。限られた時間の中、何時間も視聴することは難しいので、興味がある部分を見れるよう映像を分割したり、検索して見れるようにするなど、見てもらうための工夫が必要だと感じた。また、論点を絞って会議自体を短くするような工夫も必要ではないか。

→ 議員) キーワード検索の機能については、会議録は対応しているが、インターネット録画映像配信には対応していないという現状である。貴重なご意見として受けとめたい。また、議員の一般質問のあり方については、見ている市民がわかりやすく、興味を持ってもらえる内容とするよう心掛けていきたい。

○市議会を見れば、市政の状況が理解できると思い市議会モニターを引き受けた。「子ども・子育て」について、8月定例月議会の一般質問や決算常任委員会分科会を傍聴して、四日市の将来は安心だと感じた。

○自治会から市議会モニターを任されるにあたっては、市や市議会がしっかり仕事をしているか、四日市の未来は大丈夫かということ傍聴して確認してみようと考えていた。実際に傍聴をしてみて、市・市議会・議会事務局のいずれもしっかり仕事をしており、他市よりも良いと感じた。これからの四日市は大丈夫だと安心をしている。

○行政の仕事ぶりは素晴らしく、特に窓口対応については、他の自治体にも誇れるものだと思っている。

#### 市議会の広報について

○平成26年度の市議会モニターの意見に対する対応で、「意見を議会内に周知し全議員で共有」とあるが、意見を共有するだけでなく、議員が知恵を出し合ってどう改善していくか、どのような対策を講じるのかが重要ではないか。市議会モニターからの意見をもとに改善した具体があれば教えてほしい。

→ 議員) 例えば、本会議場への大型スクリーンの設置についても、市議会モニターからももらった意見をもとに実施することとなっている。

○市議会モニターは、市議会に対し、どのような意見を出せばいいのか。

→ 議員) 市議会に対して、モニターさんが思っていること、感じていることなど、忌憚のないご意見をいただければと思います。

→ 議員) 市議会モニター制度は、四日市市市民自治基本条例の制定の流れの中で、市民参加という観点から、市民に議会に少しでも関心を持ってもらうために設立した制度である。市議会モニターとして、議会を傍聴・視聴することで、市議会や議員に対して、褒めたり、怒ったり、多様な意見を出してほしいと考えており、市議会モニターの中から次の市議会議員が出てほしいと願っている。一般質問の改善についての意見をいただいたが、いただいた意見は、議会内に周知されるので、各議員も次はどのように一般質問をしたらいいかを考えるきっかけになると思う。委員会を傍聴すると市政のことがより理解できると思うので、機会があれば

ば傍聴してほしい。10月からタブレットが議員に配付されているが、一步前進して、傍聴者にも貸し出せるような仕組みを今後考えていきたい。

○市議会だよりには、議会の内容や結果が掲載されているだけであるが、議員それぞれの考えを掲載するなど、もっとあたたかみのある紙面にしてほしい。

○生の声のやり取りが最も重要であるので、議会報告会の回数を増やすべきである。そうすれば、議会広報紙は不要になるのではないか。

○時間がなくて、傍聴や議会報告会には行けないが、市議会だよりを読んだり、DVDを借りて市議会のことを知るよう努力している。これからはもっと議会の活動に関心を持ちたい。

○市議会モニターの活動は、自治会長会議でも報告している。傍聴に来るだけでなく、地域に対して、報告していくことも市議会モニターの仕事だと思っている。市議会モニター自身の意識も変えていかなければならないと思う。

○市議会モニターになって、市議会への関心度は確実に高まった。任期を終え、市議会モニターでなくなった時に、どれだけ市議会に関心を持ち続けさせるかが課題である。

→ 議員) 議会と市民が意見交換できる機会を増やして、それをきっかけとして傍聴に来てもらうという体制づくりが重要だと考える。

○自分の地域から市議会議員が出て、市政に関心が高まっているところで、市議会モニターを任されることになった。今は市政に関心を持つことの重要性を感じており、これからももっと関心をもっていきたいと考えている。今後どうやって若い世代に関心を持ってもらうかが課題であると思う。

○今後、市議会モニターが四日市市の中でどれだけ市民権を得られるかが課題だと考える。市議会モニターの活動を、地域に対して報告している方もいるようであるが、素晴らしいことだと思う。自治会の会議などで市議会モニターの活動を報告するような場ができれば、地域にも市議会モニター制度が浸透し、さらに、市議会モニターを通じて議会に意見を伝えるという流れになれば、市議会モニター制度はより良い制度となると思う。

○市議会モニター制度が今後求めていくべき姿は、31万人全ての市民が市議会モニターであると認識することである。そのためには、一般質問などで前向きな答弁を得るだけでなく、その答弁を実現するための具体的な施策がどの程度進捗しているかを市民に周知し、市議会に関心を持ってもらえるような仕組みづくりが必要である。

○市議会として市議会モニターに対して何を求めているか、また、市政モニターとの違いがよくわからない。普段は仕事や家事で忙しいので、このように集まる機会にこそ、議会の様子を見せてほしかった。実際に傍聴する機会があれば、その後にインターネット中継を見ようという気持ちも湧くのではないか。見てもらうための工夫が必要である。

→ 議員) 議会内で意見を周知した後、今後の対応について検討したい。

○市議会モニターは最大で2年任期となっており、任期が終わると途端に傍聴に来なくなるという現状である。市議会モニター経験者に対し、「モニター友の会」のような制度を作り、傍聴手続きを簡素化を継続するなど、傍聴に来やすい環境を作ってはどうか。

→ 議員) 任期終了後の対応について、議会内で意見の周知を図りたい。

○市議会モニターの任期終了後も、簡易な手続きで傍聴ができるような制度をつくることは、良いアイデアであると思う。

#### 議会運営について

○市議会議員は、特定の地区の利益のために活動するのではなく、市全体の利益を求めて活動すべきだと考える。長期的な視点に立ち、市にとって、ベターではなく、ベストな答えを議論によって導き出してほしい。

#### 議会報告会について

○議会報告会について、平日の夜間は遠くの会場まで出向くことはできないので、開催回数、場所を増やしてほしい。

→ 議員) 市議会としても、市民に少しでも関心を持ってもらうために、議会報告会の参加者を増やしたいと考えており、次回の11月定例会議会の議会報告会では、初めて休日昼間の開催を予定している。シティ・ミーティングでは議員と生の声で意見交換ができるので、ご近所の方を誘ってぜひ参加してほしい。

○自治会の会議に特定の議員を呼んで、市政報告等をしてもらってもいいのか。

→ 議員) 法的には問題ないと思うが、個別具体的な部分は議会事務局にお問い合わせください。